



市議会ホームページ
QRコード

平成27年度一般会計予算を賛成多数で可決

～特別会計予算も

すべて可決～

平成27年第1回定例会は、2月20日から3月23日までの32日間の会期で開催し、市長提出議案41件、委員会提出議案3件（内意見書1件）を議決しました。（8頁に掲載）



ペンシルロケット（実機） JAXA相模原キャンパス展示

平成27年度一般会計予算を賛成多数で可決

平成27年度当初予算案（一般会計と7つの特別会計）は、2月20日の本会議において予算特別委員会（楠井まこと委員長、及川妙子副委員長）を設置し、同委員会に付託しました。委員会では3月9日から18日までの8日間にわたり審査を行いました。

27年度予算の内容・特色

平成27年度予算は、一般会計が402億8,837万6千円（前年度比6.1%増）、7特別会計を合わせた総額は698億5,701万7千円（前年度比5.8%増）。編成にあたっては財政担当から昨年度に続き「ゼロベース部局積み上げ方式」とし、すべての事務事業の経費を見直して積み上げた結果、財政調整基金を取り崩さず、収支均衡型予算とできたことや、財政調整基金を積み増すことで弾力化が図れ、財政健全化に向けた第一歩とできたことが特徴として説明がありました。

予算編成の基本的考え方を質す

委員会の冒頭では予算編成の基本方針について、「臨時財政対策債を借入れないのは、普通交付税の不交付団体になった場合を考慮してか」「今後減ることが予想される財源がある中、収支均衡の維持は難しいのではないか」「地方消費税交付金は、法律にあるように社会保障に使うべきではないか」「基金を増やすために可能な限り積み増すべきではないか」「市は計画事業以外の計画にない事業も実施しなければならない。その際、計画にある事業をやり残さない一定のルールを設けるべきではないか」といった質疑がありました。次に財政の将来予測である財政フレームについては、「再開発関連や消防署用地の取得、学校施設の大規模改修、ごみ処理施設建設、新設道路などの費用をきちんと見込んでいるのか」「国分寺駅北口地下駐輪場の方式を再検討できないか」といった質疑がありました。

歳入にかかる主な質疑

歳入の質疑では「市税の納付環境の整備状況」「空き家法施行により固定資産税の減免条項を見直すのか」「景気判断は回復基調なのに個人市民税が減収見込みなのはなぜか」「行政財産使用料」「市民農園使用料」「なぜ市が消防署用

地を用意して東京都に提供するのか」、放置自転車撤去保管手数料に関連して「再開発区域内の仮設店舗の駐輪場附置義務と、周辺に置かれている自転車利用者と有料自転車駐車場利用者との不平等さ」といった質疑がありました。

歳出にかかる主な質疑

歳出の質疑では人件費に関し「東京都の給料表に準拠したことによる変化」「女性管理職の登用」「非正規職員の待遇や賃金額」「職員組合のストへの対応」等の質疑がありました。

次に費目ごとに審査し、**土木費**では「ぶんバス北町ルートの試験運行の状況と万葉・けやきルートの早期実施」「国分寺駅北口地下自転車駐車場の計画がラック式（18億円）から機械式（31億円）に変更となった経過、費用の増加と市の財政に与える影響」等。**総務費**では「オンブズパーソンを2名体制と報酬額」、新たに導入する「総合ビジョン」「業務プロセス分析」「ペンシルロケット発射60周年事業」、その他「国分寺まつり」「防犯カメラによる犯罪抑止力と個人情報保護」等。**民生費**では「施設入所待機高齢者解消策」「入浴事業の再開と高齢者生きがい交流事業への支援」「旧支え合いネットワーク事業と高齢者見守り訪問事業」「障害者就労支援用地とまちづくり条例、緑の基本計画との整合性」「保育園待機児解消策」「若者支援と家庭への支援」「民設民営学童保育所の整備」「子どもへの医療費助成の所得制限の撤廃」等。**衛生費**では「成人健康診査受診率の向上策」「検診機関の広域連携」「生ごみ堆肥化と循環型社会形成のPR」等。**労働費**では「ブラック企業対策のポケット労働法の配布」「就労支援のための庁内連携」等。**農林費**では「第3次農業振興計画」等。**商工費**では「再開発事業完了後の国分寺駅北口の商業振興策」「市HPの観光面の充実」等。**諸支出金**では「短期間で返済した一時借入金」等についての質疑がありました。

特別会計のうち、**国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計**では「工事期間中の仮設デッキ・スロープの設置」。**地域バス運行事業特別会計**では「運行収入やバスの買替」。**介護保険特別会計**では「国の介護報酬引下げの国分寺市への影響」について等の質疑がありました。

賛成多数で可決

委員会では一般会計予算案は賛成多数で、そ

他の7特別会計も全員賛成または賛成多数で可決し、23日開催の本会議でも同様の結果となりました。（※一般会計予算に対する各会派の討論は4～7頁に、各議員の本会議での表決結果は7頁に掲載）

オンブズパーソンを2名体制とし、その報酬額を変更する議案を賛成多数で可決

オンブズパーソンへの苦情申し立てが多様化及び複雑化していることから、現在1名のオンブズパーソンを2名として体制強化を図ることとあわせて、オンブズパーソンの報酬月額を10万円から5万円とする条例が提案されました。

総務委員会では、現職のオンブズパーソンと、新たに就任するオンブズパーソンの報酬額に差が生じる期間があることから、「同じ職務に対する報酬額に差が生じることは違法性がないこと」を確認する質疑がありました。

また「2名のオンブズパーソンの任期を1年ずらす運用を採用する考え」を問われ、市長より「案件の継続性等を考慮したものであり、同時期に変わることがないように配慮した運用を行う」との答弁がありました。

委員会では、全員賛成により可決し、本会議では「体制強化には賛成だが、重責を担うオンブズパーソンの報酬を減額することは理解できない」「同じ職務を担いながら報酬額に差が生じるという異例の状態であり、報酬額にも根拠がなく認められない」との反対討論がありましたが、賛成多数で可決しました。

介護保険サービス利用時の費用負担及び介護保険料等改正議案を賛成多数で可決

介護保険法等の改正に伴い、一定所得以上の方のサービス利用時の費用負担を一割から二割にすること、介護保険料の基準額で年額5万3,100円を6万8,800円にすること、低所得者に係る介護保険料の負担軽減強化を図ること、また介護予防給付の「訪問介護」と「通所介護」を「介護予防・日常生活支援総合事業（以下、「新しい総合事業」）」に移行すること等を行うため、「介護保険条例」の改正と関係条例の規定整理を行う提案がありました。

厚生委員会では、「介護保険料が現在の額と比較して月額で約1,300円高くなる」ことを問う質問に、担当から「本案は現在の実態を反映した結果であるが、今後介護予防に力を入れ、

次ページに続く

地域での支え合いの仕組みづくりにも取り組む」との答弁がありました。さらに「地域包括ケアシステム構築に向けた取組」「新しい総合事業移行に向けた準備」「認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員の設置」等の新たな取組に係る質問に対して、担当より「必要な体制整備等を丁寧に行っていく」との答弁がありました。また「パブリック・コメント時に平成29年4月としていた新しい総合事業への移行時期を、平成28年4月に変更した経緯」や「一般

会計からの繰入れにより介護保険料を下げること」「介護予防施策充実に係る具体的計画の内容」等について確認を行う質疑がありました。採決前に委員から、「介護保険料改定に当たり、介護予防の具体的施策や一般会計からの公費投入等の値上げ幅を抑える努力が見えない本案には賛成できない」との反対討論と、「介護予防等の一般施策への参加者を増やすなど、要介護者を増やさないための取組、努力」「サービス基盤の整備等、介護保険料改定に係る説明

責任を果たすこと」「地域包括ケアシステム構築、認知症対策等にしっかり取り組むこと」を求める賛成討論があり、賛成多数で可決しました。

本会議でも、「これまでの介護予防施策削減が、要介護・要支援認定者増加につながっており、介護保険料値上げは容認できない。また新しい総合事業への早期移行には準備不足であることを指摘する」との反対討論がありましたが、賛成多数で可決しました。

市政を問

平成27年第1回定例会 代表質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを代表質問の順番で掲載しています

財政健全化に向けて
力強い一歩を踏み始めた

自民党・市民クラブ 尾澤 しゅう

◎平成27年度予算

尾澤：過去最大の予算規模でありながら収支均衡型の予算とすることができ、更に基金に約7億6千万円を積み増すことができた理由は？

市長：ゼロベース部局積み上げ方式の予算により、各部署で事務を見直して本当に必要な予算なのか、金額が適正かどうかをしっかりと精査した結果の予算編成である。

◎ペンシルロケット発射60周年記念

尾澤：27年度は市内で行われたペンシルロケット水平発射実験から60周年という記念すべき年である。どのような企画を考えているのか？

市長：「宇宙開発発祥の地」として他市にはない魅力である。イベントの企画や学習の場としての活用、それからふるさと納税のお礼としてJAXAのロゴマークとシリアルナンバーが付いたペンシルロケットレプリカを1000機限定で用意することを考えている。

◎子ども子育て支援

尾澤：働く女性を応援する、生産者人口を増やすという意味でも保育施策は重要である。平成27年度の取組みと待機児童解消への展望は？

市長：新年度、新たに保育園を2園（定員250名程度）開設する予定。潜在的な保育需要を含めると27年度に待機児童解消には至らない。29年度解消を目途にしっかりと取り組んでいく。

◎通学路への防犯カメラ設置に向けて

尾澤：昨今の社会状況を踏まえ、各小学校通学路に防犯カメラを早急に設置する必要がある。

市長：プライバシー保護の観点から厳格な運用をすることを前提に、少しでも早く設置できるように進めていく。

◎教育行政の責任の明確化

尾澤：この度の教育委員会制度の改正は教育行政における責任の明確化が趣旨である。どのような考えを持ち、改正準備を進めていくのか？

市長：教育委員会の独自性を確保しながらも行政と教育委員会の連携が深まるように進める。

◎西国分寺駅東地区のにぎわい創出

尾澤：西国分寺駅東地区のにぎわいを創出することを表明されている、どのようなプランか？

市長：現在、都立多摩図書館と東京都公文書館の建設がされているところ。また、交通広場に長距離バスの乗り入れ等を図り、西国分寺駅の乗降者数を増加させるような取り組みを行い、東口改札の開設へ向け努力していきたい。

◎国分寺駅北口再開発と国3・4・12号線

尾澤：国分寺駅北口再開発が概ね順調に進む中、東地区のまちづくりと都市計画道路3・4・12号線整備の展望は？

市長：東地区が活性化するように地域の方々や商店街の皆様とよく相談しながら進めていく。更に3・4・12号線も同時並行的に進めていく。

◎ごみの共同処理と清掃センター跡地利用

尾澤：ごみの共同処理のスケジュールと現在の清掃センターの跡地利用の検討状況は？

市長：7月に一部事務組合を設立した上で、共同処理施設は平成32年度に開設の予定をしている。清掃センターの跡地利用については現在、近隣住民と話し合いをしている状況。

◎ぶんバス

尾澤：平成27年度、北町ルートと万葉・けやきルートについての計画とノンステップバス車両導入計画はどのように行うのか？

市長：北町ルートに関しては停留所を増やし利便性の向上に努めたい。万葉・けやきルートは交通不便地域の解消という観点だけでなく観光に資するルートとしても考えることができる。ノンステップバスの導入は耐用年数を迎えた車両から順次切り替えていく。

◎近隣市との連携でサービスの向上と効率化

尾澤：今後の自治体経営にとって近隣市と連携して市民サービスを向上・効率化させることが重要である。今後の広域連携していく予定は？

市長：JR中央線の高架化事業によって生まれた国立駅の高架下スペースで市民サービスを行う予定である。そのスペースを国立市と共同経営することにより効果的、効率的な運営ができると考え、国立市と協議して進めている状況だ。

◎新庁舎建設に向けて

尾澤：市民サービス、業務効率、防災対策の観点から新庁舎建設の検討をしていくべきでは？

市長：市民合意や建設時期の検討を慎重に行い、新庁舎の建設に向けて進めて参りたい。

収支均衡予算確保で
先を見据えた財政運営を

公明党 高橋 りょう子

●平成27年度予算案 臨時財政対策債を借り入れず収支均衡予算を編成し、財政調整基金に積み増しもできた要因は。市長）全予算を見直した結果弾力性が見えた。今後も増収策をとる。

●国分寺駅北口再開発 積算のずれが深刻な財政問題に。議会への情報提供や経過報告、フレームを通し冷静に見極め慎重な対応を望む。

市長）市の命運を分ける大型事業。特定建築者

との連携、市民への情報共有に尽力する。

●新庁舎建設 過去に北口再開発事業と両立できなかった教訓がある。市民との合意形成を。市長）今の分散仮設庁舎は6年目。業務効率と利便性から慎重に建設の時期を見極めたい。

●公共施設等マネジメント、財政の見える化「地方公会計整備」について全庁を挙げ丁寧に推進して頂きたい。市長の見解は。

市長）現在、公共施設総合管理計画策定中だが既存の公共施設の老朽化が進み全体の7割が30年以上を超えている。国や都の補助金活用と市民の意見を聴取し優先順位を決めていく。

●情報化を推進する自治体ではコスト削減、市民サービス向上に成果を上げ高い可能性を秘めている。ICT先進市国分寺を期待したい。

市長）現時点では遅れていると認識。今後情報公開など業務効率の上から積極的に進めていく。

●マイナンバー制度導入時には国の関係法令、条例改正が関わってくる。リーダーとなる部課長・関係所管職員の知識構築と意識向上を。

市長）人員体制の強化、専任担当設置でテコ入れした。他市に遅れをとらないよう推進する。

●職員の人材発掘・育成、女性職員の登用に意欲的な取り組みを評価する。市の未来を担う有能な人材確保にどう取り組むのか考えを問う。

市長）市民目線、市民の側に立った仕事を進めるようになってきた。今後も人材育成に取り組む。

●職員の適正配置や評価にシステムを導入し、業務ミスの軽減や効率化に資する考えは。

市長）役所の縦割りを改善し業務の連携・情報共有に力を入れ市民目線の業務執行を進めたい。

●人口減少問題への市の取組み、対策は。市長）国分寺に魅力を感じて頂く為に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定着手する。

●保育施策や学童 保護者の就労形態の変化で多様なニーズが求められている。市の見解は。

市長）共働き世帯の増加で要望は多種多様。平成29年度には保育園の待機児ゼロをめざす。又、学童にも民間の力を活用し、高齢者施設との融合など将来を見据え検討したい。

●特別支援教室の改正はいい対応を求め。教育長）東京都が28年度から3年間で、通級指導学級の運営方法を教員巡回型に改定すると聞く。対象者には十分な情報提供をする。

●いじめ虐待防止には、加害者の家庭環境や課題解決が再発防止に重要と認識する。見解は。

市長）家庭、学校、地域など各部署との横断的な連携で情報をつかみ早期対応に努めていく。

●地域包括ケアシステム構築には担い手の拡充が重要。介護支援ボランティア制度の導入を。

市長）地域福祉の観点から、地域の支えあいのシステムとして検討を進めたい。

●国3・4・12号線の地権者、地域住民から心次ページに続く

配の声が寄せられる。国3・4・11号線も東京都への積極的な働きかけをして頂きたい。

市長) 地権者へ丁寧な説明をし東京都からの情報を入手し提供していきたい。

●**ぶんバス北町ルート試験運行。**点在する住民や高齢者からバス停が少なく乗車できないとの声。バス停増設・ルートの見直しを求める。

市長) 停留場の増設などニーズに応え検討する。○要望の高い**万葉ルート、けやきルート**も一刻も早く、確実に達成して頂くよう切望する。

●**空き地・空き家の適正管理に関する条例**が策定されたが長期放置物件には課題が多く交渉には時間を有する。ルールを策定し解決を望む。

市長) 寄付や活用も含め、引き続き取り組む。

●**街灯のLED化**は照度が明るく、防犯性も高く好評。計画的に更なる整備を求める。

市長) 電力消費・維持管理費削減の効果は大きい。27年度は一灯式道路照明灯を手がける。

●**防災**には速やかな対応が必要。個人情報保護に配慮した新名簿作成、要支援体制の整備を。

市長) 市民の命を守る事が最優先。地域の力をお借りし様々な機関と訓練を含め、連携する。

その他) 年代に即した食育の推進などを質問。

戦後70周年、 日本国憲法を活かす政治へ



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

幸野◆**日本国憲法と自治基本条例**◆安倍政権が集団的自衛権の閣議決定や特定秘密保護法の施行、戦後70年談話などで、日本国憲法をなき者にしようとしている。非核平和都市宣言をしている国分寺市から歯止めをかけて。

市長) (安倍政権には触れず) 平和事業を今後も継続していく。平和の大切さを伝えていく。

幸野国分寺まつりに「9条の会」「Bye-Bye原発の会・ちょっと待って原発の会」が再び出店できるよう、参加と協働、情報共有を理念とする**自治基本条例の立場で、調整するよう求める。**

市長) 国分寺まつりには補助金を出している立場。出店要項は実行委員会が決めて実行される

幸野) その実行委員会に対し、市や一部の市議が、補助金を交付する立場を利用して意見を付けてきたことが出店制限の原因だ。市の立場を是正して、出店を調整するよう強く求める。

幸野◆**市民の暮らし第一の市政**◆2014年のGDP速報値では成長率は0%。しかし、中身をみると、個人消費は過去20年間で最大の落ち込みだ。原因は消費税の増税やアベノミクスの物価高であり、今後の雇用や社会保障も悪くなるばかり、不安は増すばかりだ。そういう中で「**市民の暮らし第一の市政**」に向けて質問する。**消費税の地方分**が市に10億円あまり増収されているが、年金・医療・介護・子育てに用途は限定されているのに来年度の予算には見当たらない。どう活用されているのか。

市長) 年金・医療・介護・子育てに充てている。(と言いながら具体的には言及なし)

幸野) 実際には全て基金に積み立てられている。きちんと**社会保障の分野に回すべきだ**。その点で認可保育園や特別養護老人ホーム、学童保育所の増設、高齢者の生きがい入浴事業の再開、低所得世帯の高校生への奨学資金の復活等を求める。私たちは消費税には反対だがすでに払っている**税金は社会保障に充てるべきだ**。

市長) 私もそのようなものに使っていかねばいけないと思う。**施設の充実とあわせてサービ**

スの充実も図る。**そのための消費税の値上げでもあるのでしっかりと対応したい。**

幸野) 認可保育園の増設で待機児童をゼロにする目標は非常に大事なことだ。ただ**高齢者や障がい者の分野の拡充は、予算案や策定中の計画案には見当たらないので修正を求める。**

国民健康保険税については、**市が値上げの理由である7億円の赤字を会計操作によってつくり、値上げしてきたことを考えると引き下げるべきだ**。また**介護保険料も年額15,700円引き上げるのは、あまりに重すぎるため抑制を。**

市長) 国保の赤字分はあと4年、一般会計からの繰入で解消する。介護保険料は幅広く負担をしていかなければならないためご理解を。

幸野) この間、行政改革と称して公立保育園や小学校給食、図書館業務の一部が民間委託されているが、**この分野の民間委託は適切ではない**。中止するよう強く求める。また**公民館や地域センター、小中学校の校庭や体育館などの公共施設を全面的に有料化しようとしているが、むしろ市はこうした施設等で活動されているグループや団体を支援していくことが地域福祉の要だ**。地域福祉の視点からして逆行している。

市長) それぞれの施設の経緯も特徴もある。丁寧な説明をして、ご理解をいただきたい。

幸野◆**大型開発偏重の市政が財政を圧迫**◆

国分寺駅北口再開発の市の負担が196億円ではなく463億円だったことが明らかになった。この金額を市民や議会に一切説明せずに再開発という手法で推進してきたことが、**財政が厳しい最大の原因だ**。これ以上の負担は絶対に増やさず、住友不動産から入る予定のお金はすべてくらしの予算に使うべきだ。**地下駐輪場についても15億円から31億円にする計画があるが極力抑えるべき**。西国分寺駅の北口再開発も再開発ではない手法でやるべき。

市長) 税金は非常に厳しい。西国分寺駅北口については計画が進行しているわけではない。

幸野◆**まちづくりは市民本位で**◆

ムダづかいなく行うことが重要だ。①**国分寺駅周辺の駐輪場の増設**を②**西国分寺駅の東口開設**を③**恋ヶ窪駅の東口開設**を求めるがいかがか。

市長) 西国分寺駅の東口は**請願駅**にさせていただきたくない努力をしている。恋ヶ窪駅東口開設はご協力ご支援を。(時間切れで後は委員会)

財政改革と人材育成で 今こそ改革の成果を!



政策市民会議国分寺 木村 徳

木村) 市長就任から1年7カ月、前市長時代から変えられたことと変えられていないことは。

市長) 市政の透明性を高め、情報共有をした上で同じ問題意識を持って事にあたれるようになり、そのことが市民に分かりやすい市政につながっている。一方で、人材育成は今後も辛抱強くやっていかなければならない。

木村) 27年度予算は収支均衡を達成したが、扶助費等の増加が避けられない中、28年度以降の見通しがあるの収支均衡予算なのか。

市長) 市税収入が微減でありながら、ゼロベースでの歳出見直しを行った結果の収支均衡であるが、ご指摘の通り、超高齢社会に向けて歳出は増加していく。それを踏まえて増収策を図っていかねばならない。27年度はロケット実験60周年事業として、ふるさと納税のお礼の品にペンシルロケットのレプリカを作成し1億円

の歳入を見込んだ。今後の財政は経費の削減だけでは安定的財政運営はできないと考える。

木村) ロケット開発発祥の地として、今後、ペンシルロケットに関し、更なる付加価値をつけて継続してもらいたい。また、これから国分寺駅北口再開発の清算金135億円が入ってくるがそのお金の扱いの判断も極めて重要だ。

市長) ペンシルロケットについては、好評であれば続けて行き増収策に結び付けたい。再開発の清算金はまずは特定建築者に値引きなどせずきちんとお支払い頂く。その上で、将来の財政を見据えた形で適切な管理を行っていく。

木村) 変えられていないと冒頭述べた人材育成について、一方では市長は仕事の効率化のためにと市庁舎建替えも言及している。人材が育成されなければ、どんなに効率的な建物になっても、**効率的な仕事はなされない**。やはり先になすべきは人材育成ではないか。

市長) 両方とも時間がかかるものなので同時並行にやる。しかし、今の課題は職務にあった仕事を与えられていないということである。現在行っている業務プロセス分析の結果として、正規職員、嘱託職員、臨時職員がそれぞれのやるべき仕事を明確にし、責任の所在を明らかにする。その結果として職員が成長できるような人事政策を行っていききたい。

木村) 同時並行とは言いながらも人材育成・人事が重要であると感じる答弁である。その意味で今年から市長の補佐役たる第1副市長が交代した。そのことで変わったことは。

市長) これまでは人事の停滞があった。新副市長は行政を外から見、議会事務局長なども経験され、経験豊かによくやっている。庁内も本当に透明化が図られ、彼を目指して頑張るといふ意味で人材育成にもつながっている。

木村) 目指すべき上司がいるかいないかというところは組織のあり方を大きく左右する。新副市長は範を示しているということであろう。

これまで10カ年であった基本構想・長期総合計画を(仮称)長期総合ビジョンとして8カ年として策定を始めることは、市長任期が4年であることから合理的であり評価する。市長任期と整合を取るといふことは長期計画に全責任を負うという決意のもとか。

市長) 今回の改正には1つは時代の変化が速くなっているのにいさるスパンが長すぎること、もう1つは市長が変わっても何年も前市長の方針を引き継がなければならないことだ。公約の実行に即応できる形がよいと判断した。8年という期間は正に責任を持ってやる期間ということだ。

木村) ぶんバス北町ルートの試行運転は評価するが、利用者が少なく利便性の向上につながっていない。ポイントはバス停である。地域の声を聞いた上で本運行時には改善を。また、今回の試行運転で明らかになった問題点を万葉けやきルートの試行運転時にも活かすべきだ。

市長) やはり停留所の少なさが影響している。本格運行に向けて警視庁との協議を継続していく。要望の高い万葉けやきルートも北町ルートの経験を活かして実現に向けて検討していく。

木村) 昨年いじめ虐待防止条例が制定されたが、いじめの現状をどう把握をしているか。また、いじめを無くしていくための不退転の決意を。

教育長) 昨年11月現在で小学校7件、中学校7件を把握している。一件一件の内容を精査し、いじめの問題を無くしていくように市を挙げて取り組んでいく覚悟だ。



孤立しない、させない 地域づくりをすすめる



無会派（国分寺・生活者ネットワーク） 岩永 康代

■**妊娠期や乳幼児期の相談支援**■市内では核家族の子育て家庭が多く、H25年のアンケート調査では妊娠中や出産後の相談支援が求められており、子育てが孤立しない環境づくりが必要。今年から始まる専門的・医療的な相談支援と合わせて出産前から安心して相談できる場所や人につながる仕組みづくりを、庁内各課や地域の社会資源とも連携して進めていきたい。☞身近な所で相談できる体制を進めていきたい。

■**空き地・空き家の活用**■空き地・空き家の調査は始まっているが、他の自治体では所有者の意向の確認が難しいと言われている。今後の活用について、市民参加で検討・情報交換し、考え合っていける場の設定を。☞昨年の調査では、有効利用が可能と思われる空き家が131件あった。所有者の意思確認から始めていきたい。

■**生活困窮者施策**■今年度は自立相談支援と学習支援の実施であるが、様々な相談に対応できるよう関係機関や地域資源との連携を進め、コーディネート機能の充実を。☞相談者に寄り添えるような形で支援を行ってきたい。

■**暮らしやすい環境の保全・確保**■地域のエネルギーの方向性を含めた市域版地球温暖化対策実行計画の速やかな策定を求める。☞検討委員会を立ち上げ、全庁的な取組を行ってきたい。

■**平和推進事業**■小・中学生の広島派遣「ピースメッセンジャー」の事前研修の充実と、事後の継続的な活動につながる工夫を求めた。

新庁舎建設は60億円超！ 本格庁舎はいらない



無会派（無所属） 甲斐 よしと

甲斐) 現在の第1庁舎は当初5年で2億5千万のリースだったが、財政を見誤り、5年を超え利用し続けている。新本格庁舎など必要ない。この第1庁舎につなげて第2庁舎の場所に同じく軽量鉄骨の最低限の分散解消の為に建て替えのチャンスが小金井特別支援学校が西国分寺都

有地に仮校舎で4年間供した後、無料で使わせていただく間に第2庁舎を完成させればよい。軽量鉄骨でも原価償却期間は38年であり最低38年は使える。今後北口返済に117億、三市ごみ焼却にて当市負担40億超、北口につながる国3・4・12号線に50億（報告書では99億だった）、学校を始め老朽公共施設の改修に毎年30億だ。市長)御提案も1つの選択肢としてお聞きした。

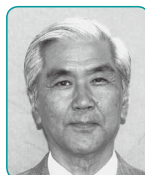
2回目の施政方針は 予算審議が楽しみです



無会派（新和会） 伊藤 太郎

Q前市政はマイナスシーリングでした。毎年各部局はマイナス5%とかを何年も継続したので、職員が優先順位が高い政策をやりたくても、その事業を行うには他の予算を削らなくては行けないので、実質は新しい事業をあきらめなければならない。そうする事が長く続くと職員のやる気が低下して、ミスが多くなります。新市政ではゼロベースからの積み上げの予算編成を行い、優先・緊急度を判断していますので、政策課題であった消防署の移設や認可保育園の新設などを盛り込みながら、借金8億円を減らし11億円を基金に積んでいます。これは税金の無駄遣いを減らした結果だと思います。市長) 財政を喫緊の問題として対応しました。

市民目線に立った 弱者に心を寄せる行政を



無会派（護憲市民） 釜我 健二

釜我) 井澤市政になって市長と議会、市長と職員の信頼関係は深まっている。一層の努力を。市長) 職員も頑張っている。議会へは情報開示し、正すべきは正し、真摯に隠さずやっていく。釜我) 市が行うアウトソーシング（外部委託）の評価は、行政側の目線ではなく市民目線で行うべき。それこそが市民のための行政に繋がる。市長) 行政の責任回避は許されない。市民目線・利用者の立場から常に考えてやっていく。釜我) 公民館の有料化は、年金生活や低所得市民には大打撃となる。弱者を守るポリシーを。市長) 減免をやっている。同じように進める。

釜我) 井澤市長には時の政権がおかしい時には苦言も呈する、そういう市長であってほしい。

市民の力を活かし 活躍できる国分寺にむけて



無会派 片畑 智子

問) 施政方針で述べられている「地域福祉」に対する考え方はその通りであるが、実態として、分野別の個別計画を含めた策定中の「地域福祉計画」は、従来型の「行政計画」としか思えない。この計画で本当に地域福祉が進むのか。市長) 実施計画をつくっていく中で、形づくっていけるよう、各部に指導してまいりたい。問) 国分寺市は「学生のまち」と言われている。新たに呼び込むことも大切だが、「(仮称)国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、今住んでいる若者も大事にして、引き続き住み続けてもらう取り組みも検討していただきたい。市長) ぜひ、若い方々のお力をいただけるような形で広報してまいりたい。

「日曜議会」を開催

2月20日の本会議で、市長より平成27年度施政方針演説が行われ、それに対する各会派からの代表質問を2月22日（日）に行いました。

当日は多くの市民の方が来場され、議会を傍聴されました。

国分寺市議会では、今後も「日曜議会」の開催を継続し、「開かれた議会」となるよう取り組んでまいります。

議会配信について

市議会では、平成27年2月22日（日）に行われた第1回定例会「代表質問」の様子を、国分寺市議会のホームページで音声配信しています。

今後は映像配信する検討を進めています。配信開始の日程等については、決定次第、市民の皆様にお伝えしてまいります。

一般会計予算案に対する討論の要旨

3月23日の本会議で平成27年度一般会計予算案に対する表決に先立ち、各会派等から賛成・反対の討論が行われました。内容は、各会派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを討論の順番で掲載しています。

持続可能な自治体財政 を高く評価



自民党・市民クラブ 田中 政義（所属8名・賛成）

※議長は表決に参加していません。

議案第1号、賛成の立場で、自民党・市民クラブを代表いたしまして、討論をいたします。

まずは、8日間における予算審議、お疲れさまでございました。また、資料の作成等につきましても御尽力いただいた職員の皆様に感謝を申し上げたいと思います。

本予算は、井澤市長の掲げる「財政の健全化」に基づき、昨年度に引き続き、ゼロベース部局積み上げ予算方式に取り組み、真に必要なものを計上した結果、臨時財政対策債を借り入れず、収支均衡予算となりました。また、公債費においては、6億2,099万5千円の減となり、基金においても、財政調整基金を7億6,645万4千円を積み増すことで、将来にわたって安心して生活できる、持続可能な自立した自治体財政に向けて大きく前進したことを高く評価しております。

計上された一つ一つの事業を見ても、待機児童解消に向けた民設民営保育所の整備・拡充、育児不安解消のための専門家による個別相談の

実施や妊婦健診超音波検査費助成の年齢制限撤廃、小学校トイレの洋式化などの子ども子育て施策の充実、小学校通学路防犯カメラの設置、新たな国分寺消防署用地の確保、街灯・照明灯のLED化推進などの安全安心施策の充実等、市民生活に直結する事業が随所に盛り込まれています。

昨年度、井澤市長は、必要な事業を先送りしないという強い決意を込めて臨時財政対策債を借り入れました。今年度において、井澤市長が初めての収支均衡予算を編成したことは、改めて市長の「財政の健全化」に臨む強い姿勢を感じたところです。

次ページに続く▶

今後も更なるアウトソーシングの推進、事務の効率化の徹底などにより、行政改革に取り組んでいただきたいと考えております。

また、財政フレームにおいて、国分寺駅北口再開発事業特別会計繰出金、国分寺駅北口地下自転車駐車場整備、都市計画道路国3・4・12号線に関わる街路用地整備、3市共同の清掃施設整備、民設民営保育所整備・運営事業など、将来にわたって必要となる政策的経費を最大限に「見える化」したことは、わかりやすくなった予算書とともに、「市民感覚の市政運営」を掲げる井澤市長の市民との情報共有を推し進めようとする姿勢が伺え、大いに評価いたします。

さらに、井澤市長の掲げる「庁内体制の整備」においては、2年続けて機構改革が実行されます。職員一人ひとりが能力を最大限に発揮できるチームワークの良い組織、そして、縦割りの弊害を排し、全庁一丸となる強固な組織の構築を、職員の人材育成と合わせ、更に取り組んでいただきたいと思います。

また、業務プロセス分析システムを先駆的に取り入れることで、正規職員、嘱託職員、臨時職員の役割分担の明確化と業務マニュアルのレベルアップと統一化を図ろうとしており、システム導入後には大きな成果が出るものと期待しております。

最後に、市制施行50周年記念の様々な事業を展開し、大いに盛り上がった昨年度の成果を礎に、市制施行100周年に向けて、更なるまちの魅力発信の事業を展開するとともに、子ども子育て施策等を推し進め、「住み続けたいまち国分寺」「魅力あるまち国分寺」「夢のあるまち国分寺」を、井澤市長のもと全職員一丸となって推し進めていただきますよう強くお願い申し上げます。

会派構成：田中政義 新海栄一 須崎宏 楠井誠 本橋巧 尾澤脩 尾作義明 村松俊武

市民を守る バランスのとれた予算と評価



公明党 木島 たかし (所属4名・賛成)

予算編成のあり方について

各課積み上げ方式による編成により、職員の責任と自覚が深まり、市長の考え方が職員に浸透しつつあると感じた。評価したい。

財政運営について

将来世代への負担の先送りとなる臨時財政対策債を借り入れずに公債費を減少させ、財政調整基金も約7億6千万積み増す収支均衡予算となったことを高く評価する。

職員の育成等、行政改革について

◎アウトソーシングを着実に進め人件費抑制に不断の努力を◎女性の管理職への積極的な登用を評価◎手話通訳のできる職員の育成・配置を公共施設マネジメントと地方公会計整備

総合管理計画は市にとって大きな取り組み。人口や高齢化動向を精査し丁寧な取り組みを。地方公会計整備は「財政の見える化」への大きな一歩と評価。着実に進めていただきたい。

情報システムについて

今なお主管課管理で任されているシステムが多く課題があるため、リスク管理を再度徹底する必要がある。主管課は本来業務に集中し、システム管理は専門部所が担う体制構築を。

国分寺駅北口再開発事業について

いよいよ再開発ビルが本格着工する重要な年。

課題となった地下自転車駐車場の問題(ラック式と機械式の比較等)は早急に整理を求めたい。

都市計画道路及び生活道路の整備について

北口再開発に係る国3.4.12号線や国分寺街道を中心とした国3.4.11号線の積極的対応を期待。生活道路と幹線道路を予算書上わかりやすく区分し、生活道路整備に力を入れていただきたい

街灯・道路照明灯のLED化推進について

コスト削減、環境の観点からもさらなる拡充を

ぶんバスについて

「北町ルート」の本運行の予算化を評価。バス停の増設やルート変更等さらなる利便性向上を。「万葉・けやき公園ルート」は実現に努力を。

子育て支援策の充実について

民設民営保育所の整備等による待機児童解消への取り組みや、障がい児の支援では専門職増員を評価。学童保育所の課題にも積極的対応を。

いじめ問題について

「いじめを絶対になくす」とのさらなる強い決意で取り組み、関係条例も一層の周知を。

スポーツの推進について

「史跡マラソン」の継続を評価。また、スポーツの所管が市長部局に移るが庁内連携で推進を。

地域包括ケアシステムの構築に向けて

特定及び後期高齢者健診、がん検診の近隣市との相互乗り入れのさらなる推進を。また、認知症カフェの設置、サポーター養成講座充実を評価。今後も、初期集中支援チームや地域支援推進員の設置等、認知症施策の充実を。

高齢者の見守り支援について

高齢者等の孤立を防ぐために重要な事業。課題を整理し積極的な協定締結の推進を。

防災減災対策について

ドラッグストアとの災害協定締結に向けた取り組みと、災害時のトイレ問題への対策として、マンホールトイレの設置を評価したい。

通学路への防犯カメラの設置について

条例化への手続きを進め、一日も早い設置を。

新庁舎建設に向けての調査について

財政問題等、市民全体に大きな影響がある事業だけに、丁寧な取り組みに努めていただきたい。以上、今予算は財政健全化、まちづくり、子育て、教育、高齢者・障がい者福祉、防災や防犯対策等における課題に対応したバランスのとれた予算と評価し、賛成の立場での討論とする。

くらし第一の市政へ、 大型開発偏重を正せ



日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ (所属3名・反対)

◆くらし第一の市政へ◆本予算案については、アベノミクスによる物価の高騰や消費税の増税が市民生活を苦しめる中で、くらし、福祉、子育て、教育といった分野が、どれだけ拡充されたかが最も問われている。その点で消費税が8%に引き上げられ、大きな市民の負担を伴った12億円あまりの収入の増加について、社会保障に用途が限定されているのに、拡充に使われたのが認可保育園の誘致4,100万円のみ、というのは極めて不十分だ。認可保育園に加え、特別養護老人ホームや学童保育所の増設、高齢者入浴施設の再開、奨学資金を復活させる予算への組換えを求める。一方で、介護保険料を、基準所得の方で年額15,700円引き上げるという大きな負担増も含まれている。「介護予防が大事だ」と言いながら、生きがい事業や入浴事業の復活も再開もなければ、今後3年間についても

拡充する事業が一つもないのはあまりにも無責任だ。こんな状況で、保険料だけ大幅に引き上げられる市民は不幸としか言いようがない。国民健康保険税については、この間行われた値上げ自体が市の会計操作による不当なものであり、値上げした額すべて引き下げを求め。地域福祉計画を進めるといふなら、公民館や地域センター、小中学校の校庭や体育館など、公共施設の全面有料化については地域福祉に逆行している。むしろ有料化ではなく、活動している方がたを支援する市政にこそ力を入れるべきだ。公立保育園や小学校給食の調理業務、図書館のカウンター業務などの民間委託は市の責任の後退だ。中止するよう求める。障がい者の分野では、予算案や次期3カ年の計画に、ほとんど目立った拡充策がないのが残念だ。当事者の声を反映させるよう求める。教育の分野では、小中学校のトイレの改修に踏み出したことは評価する。引き続き、特別教室のエアコンの設置や、独自の少人数学級の拡充、就学援助支給世帯の拡大、子どもの医療費の所得制限の撤廃をお願いする。若者の雇用・就労支援やブラック企業対策に加え、市役所の非正規職員の待遇改善を求める。

◆大型開発偏重の市政を改めよ◆国分寺市の市民一人あたりに使われている民生費(福祉)の額は、13年度決算において多摩26市で25位という低さだ。教育費の額は21位。一方で、市民一人あたりの土木費の額は、09年度から4位、1位、2位、1位、1位、と突出して高い状況で、市の財政を圧迫している。その原因になっているのが国分寺駅北口再開発だ。市の負担は工事費等が更に膨らみ473億円だ。しかも地下駐輪場の計画を18億円から35億円にすることは認められない。これ以上の負担は絶対に増やすな。西国分寺駅の北口についても再開発という手法はやめるよう求める。

◆まちづくりはムダづかいなく市民本位で◆代表質問で求めた3つに加え、バリアフリー基本構想の策定、ぶんバスの新規ルートの開設、生活道路の改善、さらなる住宅・マンションの耐震化・不燃化の促進を求める。公共施設の建て替えなどは、庁舎も含め、工事費が高騰している時期を避けるよう求める。

◆国分寺まつり問題◆この間、実行委員会に対し、昨年のように「出店を制限する」一方の意見だけでなく、議会の全ての意見を伝えたこと、市の関与についても、この件に関して「補助金を出す際に条件を付けることが出来る」としていたものを、「条件を付けることはない」と答弁したことは前向きの変化だ。引き続き参加と協働、情報共有をうたう自治基本条例と日本国憲法に即した対応を求め反対討論とする。

会派が変更になりました

所属議員：高瀬かおる・岩永康代
変更前：国分寺・生活者ネットワーク
変更後：無会派(国分寺・生活者ネットワーク)
所属議員：片畑智子
変更前：国分寺・生活者ネットワーク
変更後：無会派

次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成27年第2回定例会は、6月8日(月)から開会の予定です。
議会はどこでも傍聴できます。
ぜひこの機会に市議会を傍聴していただきますようお願いいたします。
※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

問題・課題の早期解決と 誠実で真摯な市政を



政策市民会議国分寺 皆川 りうこ (所属3名・賛成)

◆予算審査及び予算全体について

行政のチェック機関として多岐にわたる質疑を行う一方、行政側は資料の差し替えや答弁保留等散見された。また、課長がすべき答弁を部長が答弁し、役割の自覚の不十分さも見られ課題を残した。課長就任期間が短いにも関わらず答弁に臨んだ管理職については大いに評価する。予算編成では、一つ一つの事業の精査、検証で真に必要なものを計上し、臨時財政対策債を借りることのない予算の収支均衡は本来の姿だ。公債費については、下水道の特別会計を合算し全体で12.4%、約6億円減となり償還も進んだ。財政調整基金を7億6,645万4千円の積み増しは、財政弾力化に向けた取り組みとして評価する。

◆評価すべき個別事業、事項について

①まちの発信への取り組み。ふるさと納税、宇宙に関わるイベント②学校トイレの改修洋式化③嘱託1人で母子自立支援員・婦人相談員を兼任から1名増で体制強化。④駅再開発事業地の地下水の影響について国分寺地下水湧水保全条例の審議会へ諮問。⑤スポーツ振興計画の策定。介護予防や地域福祉等計画との連動、障害、多世代も参加できる点も視野に入れた内容とする。⑥佐渡市ジュニアサマー交流事業については世界農業遺産等学習的要素を加味した内容に見直し。⑦生ごみ堆肥化事業。無料で配布している堆肥は、ごみ減量に努力した市民へのインセンティブがはたらくよう公平性についての検討⑧東日本大震災による市内への避難者、自主避難者に対し誠実に対応。⑨スクールソーシャルワーカーも子どもの環境調整役としてきめ細かな対応がなされている。⑩本施政方針では男女平等施策と明記「市としても男女平等施策は重要」と副市長より明言。固定的役割分業の問題等本質的な視点を見失うことない行動計画を。

◆予算審査で明らかになった問題、課題

①国分寺駅地下駐車場のラック式から機械式への変更について不透明な政策形成過程。機械式は、一社のみで選定で強引に進めようとし質疑により、再度検討する旨の答弁だったが、資料の出し直しが2度もあり疑問は残ったまま。②日本公衆電話会費負担金については加入理由が不明。他の部署においては加入料金と使用料を相殺する等、自治法208条総計予算主義からして不適切な会計処理している事実が判明。③東京都補助事業の防犯カメラ設置。学校の生徒数等事情が異なるのに一律5台設置の理由、子どもの安全が目的であるのに24時間稼働の根拠も不明。カメラ設置条例検討の折には、国分寺市自治基本条例、個人情報保護条例を遵守できるかが課題。十分な検討、議論は必須。④市長の政策実現に向けて組織改正、改編等止むを得ないが、市民活動センター等移転に関しては今後の発展性など説明が不十分。⑤ビジョンが見えないアウトソーシングは問題。⑥待機児童の解消に向けた方針を示すべき。⑦約1,400万円もの業務プロセス分析委託事業は本当に必要か疑問⑧再開発事業の一時借入れの借入日、日数、返済日など不自然でまちまち。適切に対処するとの方向性が示されたが課題を残したまま。⑨28年度には5億8千万円の財源不足が財政フレームで明らかで次年度は大丈夫か。⑩高齢者

見守り事業は必要な事業だが、市の積極的働きではなかったことが判明。要綱の不備など事務上の課題があるため早急に改善すべき。

◆積み残された課題や問題は早期解決し、評価した事項については前進させ、新年度に向け最少の経費で最大の効果を生む行政運営を。市民の疑問等への対応は、真摯で誠実な姿勢であるべきことを求め、総合的に判断して賛成とする。

情報公開と市民参画で 市民との合意形成を



無会派 (国分寺・生活者ネットワーク) 高瀬 かおる (所属2名・賛成)

■平成26年度は、臨時財政対策債の借入れを行ったが、平成27年度予算は、臨時財政対策債を借入れず、財政調整基金の取り崩しも行わずに、収支均衡予算となったことに、まずは評価する。一般会計歳入予算では、特に、地方消費税交付金が約9億8千万円増と見込まれるなど、予算総額は前年度比、約23億円の増額となったが、市財政は、まだまだ厳しい状況に変わっていない。今後、超高齢社会を目前に、ますます増え続けるだろう扶助費をはじめ、公共施設等マネジメントの推進や清掃施設整備、新庁舎建設など、多額な支出が見込まれることから、長期的な視野に立った財政運営が必要だ。市民生活においても、昨年4月からの消費増税により物価は上昇、さらに円安の影響もあり、実質賃金が減少するなど、厳しい状況が続いている。このようなことから、国分寺市の財政状況を、市民にわかりやすく適切に情報公開し、優先してすすめる事業など、合意を図っていくことが必要だ。そのことを強く求める。

■個別事業について／介護予防事業は、身近な場所で楽しく続けられるように、市が実施している事業の成果と課題を検証し、地域で行われている取り組みと連携するなど検討が必要。地域資源の把握を進めていただきたい。また、歩いて行ける場所で事業が実施できるよう、高齢者施設の地域交流スペースを使わせていただくなど積極的な働きかけを提案／通学路の防犯カメラ設置については、プライバシーに最大限配慮したルールを定め、地域の合意を図るべき。

■平成27年は、戦後70年の節目の年。多様性を認め合い、誰もが対等で、お互いの人権を尊重できる社会は、平和に通じる。命を尊び、地域から平和を発信する教育、共生のまちづくりを進めることを要望し、賛成の討論とする。

アベノミクス“バブル” 崩壊後も見据えよ



無会派 (無所属) 甲斐 よしと (反対)

北口再開発事業の借金は現在119億、ピークは29年度147億、平成30年度まで返し続ける。下水道もまだ、106億借金がある。

市の公共施設等マネジメント検討委員会にて学校を始め市の公共施設の修繕や建て替えに来年度以降の10年間で平均28億必要、20年後のピーク時には72億円必要と記されている。

日野市、小金井市とのごみ焼却施設の国分寺負担分は40億を超えそうである。そこへ国3・4・12号線(北口駅広場～日立中研北の通り、旧OKパークレーンを横切る新設道路)の事業

住民説明が年末になされ、来年度測量設計に1,250万計上。総事業費は50億超であろう。加えて新庁舎建設調査委託料712万円と本格的な新庁舎建設に取り組もうとしている。従来の計算でも建設費だけでも60億円は超えよう。加えて国分寺駅北口広場地下に建設予定の地下駐輪場の件では従来のラック平置き(15億。半分は補助金予定)が突如正式に三層の機械式駐輪場の導入となっており、31億(半分は補助金予定)に設計4億で総事業費35億円だという。委員会では改めて比較検討をする旨の答弁だが、予算上360万円の設計委託料は機械式導入の予算である。

現在、わが国ではアベノミクスのもと日銀は異次元緩和と言ひ、市場の国債や株式債券を買い支え、株式を始めとする資産のインフレを起こしている。しかし“バブル”は必ず崩壊する。こと人為的なバブルなら、崩壊は底割れする程深く落ちる。今日まで北口再開発の巨額支出により、高齢者事業費を始め縮減され市民にしわ寄せを生んだ。アベノミクスバブル崩壊、そしてオリンピックバブル崩壊を見据え、30年度の北口再開発の清算金が確定に入るまで、多額の借金を要す大型事業に手をつけるべきではない。

動きが見える井澤市政



無会派 (新和会) 伊藤 太郎 (賛成)

今回の平成27年度の一般会計予算の採決に賛成の立場で討論をいたします。

先ず財政については、施政方針に対する代表質問で述べましたので、違う観点から申し上げます。特に事業について申し上げます。

井澤市政になってからはや1年7か月、私は12年近く与党の市議会議員でした。前任の市政では行政が悪いのかそれとも議会が悪いのか事業が進みませんでした。個人的言えば、私の10年間は何だったのかと言いたい気持ちで一杯です。この10年間の評価については歴史に判断してもらいしかありません。

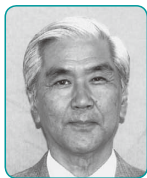
では私が申し上げる事業とは、市の東側から申し上げます。3・4・11国分寺街道のバイパス道路です。国分寺駅北口再開発はもちろんですが、駅に入る主要道路である3・4・12も着手し始めました。それに合わせて市のロータリーの地下に3,000台の自転車駐車場も検討段階にはいりました。そして市の東西南北を主要道路である、3・2・8と3・4・6の工事も始まっています。これらの中には、40年間交渉が進まない事業がいくつかあります。それ以外でも消防署の移転や3市構成されるごみ処理場も現在進行中です。つまり長い間時間をかけても進まなかったことが早いスピードで動いています。また福祉では老人保健施設(ベッド100床)と認可保育園を1園開設します。

今後の課題は市役所をいつどこに新設するのか? 今後増加する福祉の予算をどのように確保するのか? 水と緑の国分寺の緑被率を下げずに快適な空間を残していくのか? 野川の河川整備をいつ頃から始めるのか?

まだ道半ばですが、見通しがたってきました。これだけの事業が同時進行すれば、市民の皆様も日々市内の景色が変わると思います。



信頼関係を強化し
市民の期待に応える市政を



無会派（護憲市民） 金我 健二（賛成）

- 1 新市長のもとで行政の重大ミスは減少し、市長と議会・職員の信頼関係も深まりつつある。さらなる努力で、市民の期待に応えてほしい。
- 2 本予算案は歳入・歳出とも、かなり精査されており一定の評価をしたい。とくに歳出は多くの市民ニーズ、行政の責務の履行の面から、かなり配慮がなされていることを評価する。
- 3 今の政権は、低所得者ほど苦しめられる消費税のみに財源を求め、大企業の内部留保には手をつけず大企業・富裕層優遇の政治に偏っている。今後増大する社会保障等の財源としてこれらに大胆に手をつけることを求め、市長としても大いに発信し、行動を起こしてもらいたい。
- 4 アウトソーシング（外部委託）の評価は、行政の立場でなく、市民のためになっているかどうかで判断してほしい。また、公民館の有料化は低所得者等に大打撃なのでやめるべきだ。
- 5 通学路の「防犯カメラ」設置は、個人情報保護の観点から大きな問題がある。まず、条例を制定して、全ての市民合意の上で実施すべきだ。
- 6 保育の待機児解消はH29年度より前倒しの努

力を。また、民間保育園で急な閉園が生じた際の対策として公設公営園は残しておくべきだ。
 7 国分寺駅北口地下駐輪場は、機械方式ありきでなく、災害時対応などあらゆる角度から検討すべきだ。契約も絡むので公正で透明な検討を。
 8 都道3・2・8号線はH27年度完成が無理なことは明白。東京都に対しスケジュールの見直しを、市と市民に早く示すよう求めるべきだ。
 9 日野市・小金井市・国分寺市のごみの共同処理は、その実現まで全力で当たってほしい。当市としてなすべきことは積極的に取り組みを。
 10 生ごみ堆肥化・ごみ減量に全庁的な協力を。
 ■本予算案は十分ではないが、よく精査され市民ニーズにもかなり配慮しており賛成する。

「市民自治」の成熟に
つながる「市民参加」に



無会派 片畑 智子（賛成）

本予算案は、約403億円という過去10年間で最大の予算総額となったが、収支均衡の上、基金の積み増しも実現できた。個別具体的な事業についても精査が為され、明らかに無駄であるとか旧態依然とした事業は確実に減少し、新たな地域課題の解決を目指した取り組みがいくつも散りばめられた内容となっている。

また、「地域福祉計画」の実施や「第4次国分寺市長期総合計画に続く新たな総合計画」の策定事業、「公共施設等総合管理計画」策定、「新庁舎建設」検討事業など、5年後10年後の国分寺市政を見据えながら舵を切っていく上で、大変重要な事業も数多く計上されているが、同じ目的に向かって一体となれるテーマもあれば、場合によっては、市民を二分する恐れのあるテーマも含まれている。

民主主義社会においては、多様な意見があることは当たり前のことであり、それぞれの意見は尊重されるべきものである。しかしながら、最終的な結論をひとつに絞らなければならない場面においては、自己の主張にのみ固執するのではなく、他者の意見にもしっかりと耳を傾け、理解し、歩み寄っていく姿勢が不可欠でもある。合意形成をはかる過程においては、この、市民自治を進めていく上での基礎基本を市民ともしっかりと共有した上で、コーディネーターとなる行政は決して労力を惜しむことなく、丁寧に進めていただくことを強く求める。

さらに、本予算を、12万市民の満足度向上につなげていくためには、平成27年度において、この予算を基に、職員がどのように仕事を進めていくのかということにかかっている。自らの仕事に誇りを持って、希望を抱いて、一つひとつの仕事に対して誠実に着実に取り組まれることを強くお願いして、賛成の討論とする。

第1回定例会における賛否の分かれた議案に対する議員の表決結果

議案名	議員名	自民党・市民クラブ										公明党		政策市民		共産党		無会派							
		尾澤しゅう	新海栄一	楠井まこと	田中政義	本橋たくみ	尾作義明	村松俊武	須崎宏	高橋りょう子	さの久美子	なのおの克	木島たかし	皆川りうこ	木村徳子	及川妙子	幸野おさむ	岡部宏章	中山ごう	釜我健二	伊藤よしと	片畑智子	高瀬かおる	岩永康代	
議案第1号 平成27年度国分寺市一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号 平成27年度国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号 平成27年度国分寺市国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号 平成27年度国分寺市介護保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号 平成26年度国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号 国分寺市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号 国分寺市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号 国分寺市介護保険条例の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号 国分寺市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号 国分寺市オンブズパーソンの選任について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

・表決（○＝賛成 ×＝反対 退＝退席）・会派名（政策市民＝政策市民会議国分寺、共産党＝日本共産党国分寺市議団）

第1回定例会陳情の審議結果

第1回定例会では継続中の6件を審議した結果、審議終了4件、採択1件、一部採択・一部不採択1件となりました。

《審議終了となった陳情》

- 陳情第26-3号 「安心して暮らせる日本」にするための意見書の提出を求める陳情
- 陳情第26-4号 子どもたちが安心して暮らすことができるための電波塔設置規制の条例制定の陳情
- 陳情第26-5号 集団的自衛権の行使容認について憲法の解釈変更に対する意見書提出に関する陳情

陳情第26-9号 西国分寺駅東口開設を求める陳情

《採択となった陳情》

- 陳情第26-8号 幼稚園就園奨励費補助金の支給対象にない保護者の公的支援に関する陳情
- 《一部採択・一部不採択となった陳情》
- 陳情第26-6号 介護保険対象障害者に係る障害福祉サービスの適切な利用に関する陳情

（詳細はホームページをご覧ください。）

請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます

市民の皆様の行政等に対するご要望は、請願・陳情としていつでも市議会に提出できます。

ただし、議会改選のため5月1日（金）からの受付となります。また平成27年第2回定例会（6月8日開会予定）からの審議を希望する方は、5月19日（火）までに直接議会事務局へ提出してください。

第1回定例会議案審議結果

第1回定例会には議案43件が提出され、同意1件、承認1件、可決41件となりました。

議案番号	議案名	議案の要旨	結果
委員会提出議案第1号	国分寺市議会委員会条例の一部を改正する条例について	会派構成の変更により、議会運営委員会の委員の定数を変更する。	全員賛成・可決
委員会提出議案第2号	国分寺市議会委員会条例の一部を改正する条例について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、市議会委員会への出席要求をする者を変更する。	〃
第1号	平成27年度国分寺市一般会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ402億8,837万6千円と定める。	賛成多数・可決
第2号	平成27年度国分寺市土地取得特別会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億659万5千円と定める。	全員賛成・可決
第3号	平成27年度国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ22億4,146万4千円と定める。	賛成多数・可決
第4号	平成27年度国分寺市地域バス運行事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4,623万8千円と定める。	全員賛成・可決
第5号	平成27年度国分寺市国民健康保険特別会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ125億3,551万4千円と定める。	賛成多数・可決
第6号	平成27年度国分寺市介護保険特別会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ79億659万1千円と定める。	〃
第7号	平成27年度国分寺市後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ25億7,736万3千円と定める。	全員賛成・可決
第8号	平成27年度国分寺市下水道事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ40億5,487万6千円と定める。	〃
第9号	専決処分について (平成26年度国分寺市一般会計補正予算(第8号))	史跡武蔵国分寺跡公園用地の一部を買収し、及び平成25年度予算から支出した農業委員会だよりの印刷製本費を改めて平成26年度予算から支出する必要があり、専決処分したので議会の承認を求める。	全員賛成・承認
第10号	平成26年度国分寺市一般会計補正予算(第9号)	歳入歳出予算の総額から3億6,615万円を減額し、歳入歳出それぞれ392億7,999万円とする。	全員賛成・可決
第11号	平成26年度国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額から8,765万3千円を減額し、歳入歳出それぞれ32億971万3千円とする。	賛成多数・可決
第12号	平成26年度国分寺市地域バス運行事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額に344万9千円を増額し、歳入歳出それぞれ2,933万1千円とする。	全員賛成・可決
第13号	平成26年度国分寺市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額に1億5,230万4千円を増額し、歳入歳出それぞれ113億1,959万4千円とする。	〃
第14号	平成26年度国分寺市介護保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額に1,310万7千円を増額し、歳入歳出それぞれ72億3,173万8千円とする。	〃
第15号	平成26年度国分寺市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算の総額から340万6千円を減額し、歳入歳出それぞれ25億2,928万円とする。	〃
第16号	平成26年度国分寺市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算の総額から6億1,805万3千円を減額し、歳入歳出それぞれ36億2,977万円とする。	〃
第17号	国分寺市行政改革推進委員会設置条例の一部を改正する条例について	機構改革に伴い、委員会の庶務を変更する。	〃
第18号	国分寺市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	オンブズパーソンの報酬額を改定する。	賛成多数・可決
第19号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	平成27年度における一般職の職員の給料等を改定する。	全員賛成・可決
第20号	国分寺市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例について	平成27年度から平成29年度までの都市計画税の税率について前年度と同様にする。	〃
第21号	国分寺市保健センター条例の一部を改正する条例について	ひかり保健センターを廃止する。	〃
第22号	国分寺市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	福祉事務所嘱託医等の報酬の額を改定する。	賛成多数・可決
第23号	国分寺市介護保険条例の一部を改正する条例について	介護保険法の改正に伴い、サービス利用時の費用負担等の見直しを行い、介護保険料を改定する。	〃
第24号	国分寺市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	介護保険法及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等の改正に伴い、関係条例の規定を整理する。	〃
第25号	国分寺市介護老人保健施設条例等の一部を改正する条例について	介護保険法の改正に伴い、関係条例の規定を整理する。	全員賛成・可決
第26号	国分寺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例について	子ども・子育て支援法の施行に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等を定める。	〃
第27号	国分寺市立こどもの発達センターつくしんぼ条例の一部を改正する条例について	児童福祉法に規定する児童発達支援及び障害児相談支援事業並びに障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に規定する特定相談支援事業を実施する。	〃
第28号	国分寺市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について	建築基準法の改正に伴い、容積率の算定の規定を改める。	〃
第29号	国分寺市事務手数料条例の一部を改正する条例について	マンションの建替え等の円滑化に関する法律等の改正に伴い、容積率特例許可手数料の新設等を行う。	〃
第30号	国分寺市建築審査会設置条例の一部を改正する条例について	建築基準法以外の法令等に基づく同意等を所掌事務に加える。	〃
第31号	国分寺市下水道条例の一部を改正する条例について	下水道法施行令の改正に伴い、公共下水道に排除される下水の水質の基準を改める。	〃
第32号	国分寺市立公園条例の一部を改正する条例について	市立の公園を1件新設する。	〃
第33号	国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業の施行に関する条例の一部を改正する条例について	事業の事務所の所在地を変更する。	〃
第34号	国分寺市教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、教育長の職務に専念する義務の特例を定める。	〃
第35号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、関係条例の規定を整理する。	〃
第36号	国分寺市オンブズパーソンの選任について	国分寺市オンブズパーソンに木村雅一氏を選任する。	賛成多数・同意
第37号	市道路線の一部廃止について	当該市道路線の一部は公共の用に供しておらず、将来にわたり存置する必要がないため廃止する。	全員賛成・可決
第38号	指定管理者の指定について	国分寺市プレイステーションの管理業務を平成27年4月1日から平成28年3月31日まで、「特定非営利活動法人 冒険遊び場の会」に行わせる。	〃
第39号	平成26年度国分寺市一般会計補正予算(第10号)	歳入歳出予算の総額に1億2,616万1千円を増額し、歳入歳出それぞれ394億615万1千円とする。	〃
第40号	平成27年度国分寺市一般会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額に2億3,475万円を増額し、歳入歳出それぞれ405億2,312万6千円とする。	〃
第41号	損害賠償の額の決定について	交通事故による損害賠償の額を定める。	〃

意見書を可決

下記の意見書を可決し、関係機関に送付しました。ここでは、意見書の要旨を掲載しており、全文についてはホームページに掲載しています。

意見書第1号 国の「幼稚園就園奨励費補助金」における格差是正を求める意見書

現在、認可幼稚園に通う幼児の保護者に支給されている国の「幼稚園就園奨励費補助金」は、幼稚園教育を目的として設置され、都道府県知

事が認可した幼稚園類似施設に通う幼児の保護者を対象としていない。

「幼稚園就園奨励費補助金」は、多子世帯の保護者負担軽減等の目的で支援対策が拡大されており、小学3年生以下の兄や姉のいる幼児を認可幼稚園に通わせる保護者は、年間最大で30万8千円の補助金を受給できるが、同じ家庭状況で幼稚園類似施設に通園させている保護者はその対象とならない制度となっている。この補助基準により、同じ環境で子育てを行っている

保護者において、国の支援に大きな格差が生じている状況にある。

国分寺市内においても幼稚園類似施設があり、通園する施設によって生じている子育て支援格差を早急に解消する必要がある。

よって、国分寺市議会は、国に対して幼稚園就園奨励事業の趣旨に沿って、都道府県知事が認可した幼稚園類似の幼児施設に通う幼児の保護者を、国の「幼稚園就園奨励費補助金」の対象とすることを求める。